

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

西脇ファッション都市構想深化事業～ファッション・クラスターによるイノベーション創出プロジェクト～

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

兵庫県西脇市

### 3 地域再生計画の区域

兵庫県西脇市の全域

### 4 地域再生計画の目標

#### 4-1 地方創生の実現における構造的な課題

西脇市は山地や丘陵に囲まれ、河川沿いの平野部に集落や農地が形成され、播州織を基幹産業としてきた。有名アパレルに多数採用されるほど高品質なテキスタイルを製造しているながら、素材産業であるがゆえに消費者の認知は不十分で、ブランド力が弱い。また、下請け構造であるため、高付加価値化・生産性の向上を図りにくい環境にあることも課題であり、新興国との競合の中で生産量、生産金額の減少に歯止めがかからない状況にある。他方で、本市においては、10歳代後半から20歳代の若者が進学や就職を契機に都市部を中心に大量に流出するという構造的な問題を抱えており、デザイナー、織布、企画・営業を担う商社などにおいて、産地を支える若手人材が不足するという課題も抱えている。

これらの現状・課題については、RE S A S等においても確認することができ、繊維工業が企業数240社（2014年）、従業者数1,549人（2014年）、売上高25,076百万円（2012年）、付加価値額6,008百万円（2012年）で市内最大の産業となっている一方で、播州織生産金額（業界統計）は2005年の450億円から2015年の237億円まで半減している。また、社会動態は2015年において30歳未満の転出超過が約200人となっており若者の流出が顕著となっている。これは、低い生産性、全国的には低い知名度、非クリエイティブ産業、非成長産業とのイメージにより、若年層

にとって有力な就業先候補とみなされておらず、地域の基幹産業でありながら、雇用の受け皿としての機能を果たせていない現状を示している。

## 4-2 地方創生として目指す将来像

### 【概要】

播州織産地は染色・準備・織布・加工・産元の業種が集積するファッション・クラスターを形成しており、産地ならではのテキスタイルを作製する土台が整っている強みを生かして、デザイナーをはじめとするファッションクリエイターを呼び込み、産地で育成することで、播州織の最終製品や最終製品を創出する起業者を増やしていくとともに、イノベーションの促進によるオンリーワンの製品開発や製造を行う。これにより、西脇ブランドの最終製品やオンリーワンの製品が次々と誕生し、「西脇産」が付加価値となるようなブランド力を持つことで、市場での優位性をもち、製品単価の上昇へとつながる。

このことは、播州織がこれからもまちの中核であり続けることとなり、ファッションクリエイターが「訪れてみたくなる」、「働いてみたくなる」、「住みたくなる」まちへとつながり、人が産業を興し、活発な産業が人を呼び込む好循環が実現されたファッション都市の確立を目指す。

### 【数値目標】

K P I	事業開始前 (現時点)	2017年度増加分 1年目	2018年度増加分 2年目
播州織最終製品の年間売上高 (単位：千円)	275,000	4,000	6,000
デザイナー等研修生の受入れ人数 (単位：人)	11	3	3
播州織1平方メートル当たりの生産金額 (播州織の生産金額/生産数量) (円/㎡)	578	5	5

2019年度増加分 3年目	2020年度増加分 4年目	2021年度増加分 5年目	K P I 増加分 の累計
7,000	15,000	35,000	67,000
3	2	1	12
5	3	4	22

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2の③及び5-3のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- 地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】
- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業主体

兵庫県西脇市

#### ② 事業の名称

西脇ファッション都市構想深化事業～ファッション・クラスターによるイノベーション創出プロジェクト～

#### ③ 事業の内容

首都圏をはじめとする都市部でのプロモーション活動やジョブフェアなどにより、播州織の認知度を高め、理解を深め、産地への移住・就労へとつながる誘致活動を進めていく。さらに、デザイナーの産地での雇用、人材育成を通して市場における最終製品の増加を促進することにより、播州織のブランド化を図り、競争力を強化するものである。知識や技術の習得段階、試作、販売などの実践段階、起業・創業段階などの各ステージに応じた人材育成を行うとともに、生地素材が豊富であることと、ファッション・クラスター（染色・準備・織布・加工・企画の各業種の集積）を形成していることの強みを生かし、最終製品の開発に欠かせない試織、コワーキングスペースでの試作やデザイナー等による交流、技術の向上を目指した研修や起業に向けた

研修など研究・研鑽・販売までの一貫した支援を官民協働で実施していく。

また、最終製品の開発研究、販売増加によるブランド力の強化とリンクして、産業としての生産性の向上も図り、国内に限らず海外市場も含め販路開拓を行っていく必要があることから、産官学金の関係機関と連携し、支援を行っていく。

#### ④ 事業が先導的であると認められる理由

##### 【自立性】

当面は、市一般財源、企業版ふるさと納税による支援などを通じて財源を確保し、事業の立上げ、安定化に対して支援するものの、最終製品の新品研究・開発を行い、販売することにより、「稼ぐ力」を高め、5年を目途に自立化を目指している。自己資金、外部資本などを活用し、事業の自立運営に努めていくが、そのためにも最終製品の増加を図り、地域ブランド化の確立に取り組むことが重要である。

##### 【官民協働】

最終製品化や高付加価値化に向けて主体的に業界団体・企業が取り組み、横断的な調整能力、地域住民・団体との連携などに長けた行政が事業の推進を支援するとともに、金融機関と連携し財政支援（頑張る事業者のチャレンジリスクの軽減）を行うなど、それぞれの役割分担の下で官民協働で行っていくことが重要である。

##### 【地域間連携】

播州織産地は本市だけでなく隣接市町で形成されていることから、人材育成、産地研修、最終製品の創出などにおいては、各市町連携し支援を行うとともに、広域的な見地で県とも連携して対応することが重要となる。

##### 【政策間連携】

外部の人材を活用した地域産業におけるイノベーションの活性化、移住促進による流入増と教育段階からのアプローチによる流出減による定住人口の確保、地産外消を目指す観光振興など、複数の政策を総動員し、地域経済の活性化を最大化することを狙いとしている。また、複数政策の窓口をワンストップ化しており、関係者の利便性の向上を図っている。

#### ⑤ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4-2の【数値目標】に同じ。

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

外部有識者、関係者からなる「西脇ファッション都市構想研究調査委員会」により、事業の進捗管理及び検証を行う。

まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理、検証を行う附属機関（産官学金労言からなる機関）においても、合わせて産業振興全体の観点から検証を行う。

検証に当たっては、デザイナー受入れ事業所、デザイナー研修生、学生、業界団体等に対してヒアリング、アンケートなどを実施し、適切かつきめ細かな改善を図る。

【外部組織の参画者】

産業界、大学、教育・専門機関（専門学校、高等学校）、金融機関、商工会議所、被雇用者、マスメディア、中小企業診断士、兵庫県、西脇市など

【検証結果の公表の方法】

毎年度、会議体による検証後、ホームページ等により公表を行う。

⑦ 交付対象事業に要する経費

(単位：千円)

事業	2017年度	2018年度	2019年度
法第5条第4項第1号イに関する事業	36,500	49,900	35,700
うち法第5条第4項第2号に関する事業 ※2019年度まで記載			17,850

2020年度	2021年度	総事業費
123,100	22,690	267,890

		17,850
--	--	--------

⑧ 事業実施期間

- ・ 法第5条第4項第1号イに関する事業  
地域再生計画の認定の日から2022年3月31日まで
- ・ 法第5条第4項第2号に関する事業  
2019年1月に申請した地域再生計画の変更の認定の日から2022年3月31日まで

⑨ その他必要な事項

- ア 法第5条第4項第2号に関する事業としての事業区分  
ローカルイノベーション
- イ 申請時点での寄附の見込額

(単位：千円)

寄附法人名	寄附の見込額	
	2019年度	計
製造業	1,000	1,000
製造業	500	500
サービス業	500	500
計	2,000	2,000

ウ 寄附の金額の目安

60,000千円(2020年度・2021年度累計)

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし。

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) ふるさと名物「播州織」応援事業

## ア 事業概要

基幹産業である「播州織」を「ふるさと名物」として発信し、地域を挙げたブランド化の取組の促進を図る。

## イ 事業実施主体

兵庫県西脇市及び兵庫県多可郡多可町

## ウ 事業実施期間

2017年4月1日から2022年3月31日まで

## 6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2022年3月31日まで

## 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

### 7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

5-2の⑥の【検証方法】及び【外部組織の参画者】に同じ。

### 7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

4-2に掲げる目標について、7-1に掲げる評価の手法により行う。

### 7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

5-2の⑥の【検証結果の公表の方法】に同じ。